

- 3年生の過ごし方
- 赤本ルール
- 期末考査
- 共通テストチャレンジ(1・2年)

社会人8ヶ月目の所感

国語科 辻 亜弓

何か有益な話がしたかったのですが思いつかなかったので、自分の進路選択の失敗について書いてみようと思います。

私が一番失敗だったと思っているのは、進路について悩むのを面倒くさがって、考えることを放棄したことです。私の将来の夢は保育園に通っていた頃から高校生までずっと保育士になることでした。きっかけは、将来の夢というものを意識したときに一番近くにいた(職業の分かり易い)大人が保育園の先生だったからだと思います。それからずっと、割とつい最近まで将来の夢は保育士だと言いつづけてきました。

高校生になると、浅く広く様々なことに興味が湧いてきました。現代文担当の先生の授業が面白くて近代文学が気になったり、物理ができないからとやむを得ず選択した生物が思いの外面白くてもう少し勉強してみたいと思ったり。しかし、それまでと同じように自分は保育士になるのだと決めつけて、他の選択肢は考えないようにしていました。全部考え直すのが面倒だったのだと思います。そうやって自分ではしっかり考えているつもりで、実は考えることを放棄しながら高校3年生になり、第一志望はもちろん幼児教育が学べる学部を選択しました。

この先は本当に失敗のオンパレードで、全部書くと長くなってしまいますので省きますが、前期試験の結果が出た時点で進学先の選択肢が1つもない状況でした。ここでやっと私は、自分が本当に興味のあることは何かを考えました。幼児教育を学ぶことに興味はあるが、保育士や幼稚園の先生になりたい気持ちがそんなに強くない自分と向き合うことになりました。考えた結果、保育園なのか小学校なのか中学校なのか高校なのかはまだわからないけれど、子どもと関わる仕事がしたい気がしました。そして運よく後期試験で初等教育の国語科に引っかかり、選択肢確保のために4年間、コレクターかのように幼稚園・小学校・中学校・高校と免許を取得していきました。保育士試験も個人的に受験し、一応保育士として働く資格は得ました。大学3年の冬、全ての免許や資格を並べて考えました。自分の適性なんて何もわかりませんが、なんとなく高校の先生になりたいような気がしました。

結果運よく高校の先生になることができ、毎日楽しく過ごしていますが、小学生の時に想像した未来とは間違いなく違う日々を送っています。それでも毎日充実しているし楽しく過ごせているのは、自分がしたいこと、興味のあることと向き合って、自分で考えて自分で決めた先に今の生活があるからだと思います。進路決定に関して、皆さんが頼れば周囲の大人はアドバイスをくれるでしょう。しかし、最終決定権は皆さんにしかありませんし、誰も他人の人生の責任は負えません。だから、ごちゃごちゃしていてもふわふわしていてもいいから、まずは自分が大切にしたいことを軸に自分の基準で考え、決めることが失敗やアクシデントを人生の転機へと変えるために必要なのではないかと(少なくとも社会人1年目の今の時点では)思っています。皆さんの将来が充実したものになりますように。

○3年生の過ごし方について

出願校を決めるのに役立つさまざまなデータ冊子が送られてきました。例えば次のようなデータが載っています。活用してください。

- ・ 昨年の大学学部学科ごとの合否度数分布
- ・ 併願データ
- ・ 合格最低点・平均点
- ・ 入試日カレンダー、ほか

3年生は大学入学共通テスト「確認はがき」の確認も終わり、あとは「受験票」の到着を待つばかり。いよいよ受験当日が近づいてきた感覚はあるでしょうか。

授業では演習が増えてきたかと思いますが、毎回の見直し、復習にしっかり時間を取りましょう。演習は解いただけでは何の価値もありません。

さて、皆さんができる大学入学共通テスト対策です。まずは、受験票に試験会場が載っています。冬休み中に、行き方を調べたり下見に行ったりすることをおすすめします。

また、冬休み中、どうしても起きる時間が遅くなって生活のリズムが崩れがちです。しかし、テスト当日は早朝から頭がしっかり働く状態でなくてはなりません。生活リズムを戻すには最低でも1週間以上かかります。今年度は年明け1月11日から始業ですので、しっかり登校して、朝から勉強できる体を整えましょう。冬休み中も、規則正しい生活を心掛け、体調管理に気を付けてください。

○赤本ルール いったん返却を！

現在、赤本や青本を借りている人は、12月の期末考査が始まるまでに一度返却して下さい。特に長期間借りたままになっている人は確実に返してください。試験期間中に返却の確認をします。

試験終了後、再び借りられますが、12月以降、貸出期間は1泊2日が原則です。受験の追い込みの時期ですから、いろいろな人が借りたいと思って待っています。借りたら、なるべく早く返すようにしましょう。

赤本は、進路指導資料室、通称「赤本部屋」にもたくさんあります。こちらでも貸し出し可能です。廊下の貸出簿に記入して借りてください。

室内には大学毎の資料も置いてあります。こちらは持ち出し禁止ですが閲覧は可能です。3年生だけでなく、2年生も1年生も自由に見ることができます。

借りたら書き込みなどをせず、きれいに使うのは当然のことです。ルール・マナーを守って使いましょう。

○期末考査 迫る

12月に入るとすぐに期末考査が始まります。3年生は今回が高校生活最後の考査です。気持ちの上ではどうしても受験勉強が気になることと思いますが、最終成績を左右する重要な考査ですので、しっかり準備してください。

1、2年生は来年3月にもう一度考査がありますが、もし不得意科目や、もっと得点を伸ばしたい科目があるなら、今回の考査から早めに対策を立てましょう。前回の考査からは期間が短いので、少しの復習が大きな成果につながります。

○大学共通テストチャレンジ2021

(1・2年生)

共通テスト同日模試と言ったり、共通テストチャレンジと言ったり…呼び方はさまざまです。つまりは、2年生や1年生を対象に、大学入学共通テストの当日、または一週間遅れで、共通テストと全く同じ問題を解き、どの程度できるかを確認するものです。

ねらいの一つは、本番の試験を実感することで今後のモチベーションアップにつなげることです。1年後、あるいは2年後の自分の姿をイメージしながら取り組んでください。

もう一つのねらいは学習バランスの確認です。試験は出題の8割が教科書レベルの内容です。1年次、あるいは2年次で学習が終わ

っている科目なら8割の得点が可能なはず。どのくらい得点できたかで、仕上がり具合を確認しましょう。

1・2年生とも全員受験です。今の自分の実力を試す貴重な機会であり、自身の目指すレベルを体感する機会でもあります。受験後の見直しも含め、しっかり取り組みましょう。

○受験0期

受験に向けて早いスタートを！

3年生の一年間に先立って、2年生の秋冬からの時期を「受験0期」と呼びます。2年生は、部活や学校行事の中心となって忙しい毎日ですが、その中でいかに時間を有効活用し、すべきことを精選して取り組んでいくかが重要です。何より、少しの努力でも受験に向けて早く取り組み始めることが何より効果的です。

具体的にすべきことは、まずは自身の学習状況の見直しです。毎日の予習・復習はしっかりできていますか。授業には集中できていますか。できていないとすれば、それは生活リズムを見直すべきかもしれません。そして、各教科の模擬試験や考査の得点をもとに、自身の目標とする点数と、現在の自分の点数とを比べてみましょう。苦手科目は、1年の教材に戻って基礎を復習してもよいでしょう。自分に必要なことや学習方法については、各教科担当の先生に相談してみましょう。

◆今後の予定

- 実力テスト (3年) 11/23(火)
- 2学期期末考査 (3年) 12/1(水)
- 2学期期末考査 12/2(木)~7(火)
- 共通テストシミュレーション (3年)
12/22(水), 23(木)
- 合唱コンクール 12/23(木)
- 終業式 12/24(金)
- 冬休み 12/25(土)~1/10(月)
- 特別考査 (1, 2年) 1/11(火)

○教育実習生より皆さんに

メッセージです

本校卒業生の松ヶ野 友里さん(69回生)が10月25日から11月12日まで教育実習をされました。今回、在校生の皆さんに国立大 学理系学部の特徴や利点などを紹介していただくようお願いしました。ぜひ参考にしてください。

今回は、私個人が考える理系国立大の良いところについて2点お話しします。

1つ目は、教授と生徒の距離が近いところです。学科の在籍人数が少ないので、1つの研究室の人数も少なくなります。多くても10人程度です。研究は基本的に自分で考えたり英語の論文を読んだりして進める必要があるため、疑問点ができたときにすぐに質問できる環境にあることはかなりのメリットだと思います。

2つ目は、1人あたりにかかる研究費が高いことです。実験器具や薬品などは高価なものが多いこと、研究結果の再現性を高めるためには繰り返し同じ実験をしてデータ数を増やす必要があることから、これも重要だと思います。

ちなみに、私は放射線生物学と腫瘍免疫学を専攻しております。そのため、他分野でも共通する内容かどうかは分かりませんが、皆さんの参考になれば幸いです。残りの高校生活を楽しみつつ、受験勉強頑張ってください。応援しています。

自らの内側から湧き上がる“好き”という気持ちを大切に

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 芸術文化プロデューサー

36 回生 矢作 勝義

私は今、愛知県豊橋市が設置した穂の国とよはし芸術劇場 PLAT という公共劇場でプロデューサーの職を務めています。在学中に、50代の自分がこのような仕事をしているとは全く想像していませんでした。在学中は、ハンドボール部での部活に明け暮れていましたが、秋の朝陽祭では、1・2年生時はクラスで演劇を上演し、部活も引退し大学受験を控えながらも3年生時は有志を募りミュージカルを世田谷区民会館で上演しました。そこで、舞台作品創りの面白さを実感し、大学で演劇部に所属しました。同時に、バンド活動もしたかったので、軽音楽部の活動も並行していました。なお、日本近世史専攻でしたがその知識は残念ながら今の業務に多くは繋がっていません。

就職を考える時期になると、演劇関係か音楽関係の仕事を考えましたが、1990年当時は演劇関係の仕事が少なく、レコーディングスタジオのアシスタントエンジニアの仕事に就きました。しかし、程なくして大学時代の演劇部の仲間と劇団を旗揚げするためスタジオを辞め、働きながら劇団活動ができそうに思えた演劇・音楽とも関係ない競輪関係の仕事に就きました。新入社員として入社し、配属された部署では劇団活動を行う免罪符のように全力で働きました。6年程経つと仕事面では順当に評価され責任ある立場を求められるようになり、このままでは劇団活動との両立も難しくなることが予想されました。同時にメンバーの結婚、健康など様々な事情で劇団活動も行き詰まりを感じていた頃に、当時広報セクションで働いていたこともあり広報担当として世田谷パブリックシアター勤務の声がかかり、劇場で働く道を選択しました。

今でこそ、日本を代表する劇場ですが、開館2年目の1998年当時はまだ一般的に認知されていない状況でした。ずっと世田谷育ちだったので、世田谷パブリックシアターで働くことは光栄に思っていました。高校時代に、劇場に演劇やダンスなどを見に行くことはなかったのですが、朝陽祭での経験が、ここまで繋がっていたのかと驚くばかりです。

その後、様々な業務を担当したのですが、劇団活動をするために働いていた演劇とは全く関係のない競輪業界の仕事のなかで得た経験や技術がとても役に立ちました。自分があまり得意ではないことや好きではないことなども、仕事としてなんとかこなしていくことで身に付き、それが今に繋がっていることを実感していました。そして、勤務10年を超える頃になると、自分がこれから先も劇場で働き続けるためには、東京以外の地域にある劇場で働く経験が必要であると考え、2012年4月から穂の国とよはし芸術劇場の開館準備業務を担当するため縁もゆかりもない豊橋に移住し、今に至ります。

思い返すと、今自分がやっていることや学んでいることが将来何の役にたつのか、その時は全く予測していませんでしたし、そもそも将来自分がどんな職業に就くことになるのかもわかっていませんでした。しかし何年かして後に振り返ると、それぞれ自分が行ってきたことが、くっきりとした一本の線で結ばれていたことが分かってくるのです。私たちは何となくあることがしたくなり、何となくあることを避けたいことがあります。理由を聞かれても、答えられない。でも、何年か何十年か経って振り返ると、それらの選択には必然性があることが分かるのです。ただし、これは事前には分からず、つねに事後的、回顧的に自分の人生を振り返ったときだけ分かるものなのです。不確かな時代ですが新宿高校の皆さんは自らの内側から湧き上がる“好き”という気持ちを大切に今の時代を過ごしてください。皆さんの将来のご活躍をお祈り申し上げます。